



ソリューション事例:トヨタ自動車株式会社

構造・強度解析にかかる時間を大幅短縮

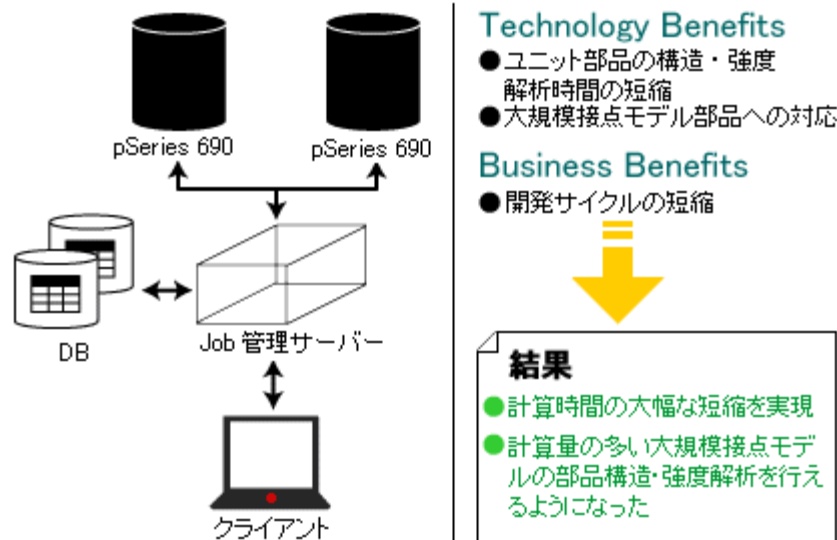
最高クラスのパフォーマンスを誇る
UNIXサーバー IBM eServer pSeries 690



複雑な自動車部品の構造・強度解析にかかる時間を大幅短縮

トヨタ自動車株式会社(本社・愛知県豊田市、社長・張富士夫)は、自動車エンジンなど複雑な部品の構造・強度解析システムに、IBM製プロセッサ「POWER4™」(1.30GHz)を搭載したハイエンドUNIXサーバー「IBM eServer® pSeries® 690」を増強しました。この増強により、膨大な計算量を必要とする大規模節点モデル部品の構造・強度解析を行えるようになったほか、計算にかかる時間の大幅短縮を実現。計画的なサイクルで、より多くの解析結果を設計に反映させることを可能にし、部品設計の効率化を実現しました。

IBM eServer pSeries 690 を増強後の新システム



優れた処理能力で、設計業務の効率化を支えるハイエンドUNIXサーバー

IBM eServer pSeries 690は、IBMの技術を結集したプロセッサ「POWER4」を搭載したハイエンドUNIXサーバーです。銅配線技術とSOI (Silicon On Insulator)を採用した最新の64ビット・プロセッサ「POWER4+™」を、最大32個まで搭載できます。またプロセッサやメモリーを必要に応じて容易に増強できるCUoD (Capacity Upgrade on Demand) 機能や、1台のpSeries 690に最大32の論理パーティションを構成できるダイナミックLPAR (Logical Partitioning) など、先進のオンデマンド機能を搭載。従来の常識を超える性能とキャパシティーを実現します。

実証された高い処理性能を、優れたプライス・パフォーマンスで提供

最高クラスのパフォーマンス、先進のオンデマンド機能の搭載など進化を続けるpSeries 690に、新たに「POWER4+」1.90GHzを搭載したモデルが登場しました。この最新プロセッサ搭載モデルは、世界最高速のTPC-Cベンチマーク値(※)を記録、実証された

高い処理性能を提供すると同時に優れたプライス・パフォーマンスも実現しています。

※ IBM eServer pSeries 690 TPC-Cベンチマークで世界記録を樹立

→ <http://www.ibm.com/press/us/en/pressrelease/6690.wss> (US)

本事例中に記載の肩書や数値、固有名詞等は初掲載当時のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。事例は特定のお客様での事例であり、すべてのお客様について同様の効果を実現することが可能なわけではありません。

IBM、IBMロゴ、eServer、POWER4、POWER4+、pSeriesはInternational Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。